

令和3年度 学校評価 結果分析

※今年度はコロナ対応に関連し一部文言が変更されたが、ほぼ昨年度と同じと見なし比較の対象とした。(文言の変更は、アンケート集計結果を参照。)

() 内の数値は%

観点	保護者等 (含：学校運営協議会)	生徒
1. 「A+B」 = 80%以上 (肯定的評価)	18 / 37項目 (昨年度 37 / 37項目)	14 / 36項目 (昨年度： 33 / 36項目)
2. 「A+B」で特に評価の高い項目 (90%以上)	「1. 学校の教育目標」 (95) 「14. 教員の対応」 (95)	
3. 「A+B」で昨年度と比較して評価を下げた項目	<p>【30ポイント以上マイナス】</p> <p>「17. 体罰の防止」 (88→55) 「31. ボランティア活動」 (85→50)</p> <p>【20ポイント以上マイナス】</p> <p>「12. 個人情報等の管理」 (88→68) 「13. 学年通信」 (86→66) 「18. 働き方改革」 (83→54) 「23. いじめの対応」 (84→59) 「29. 部活動」 (83→60) 「34. 地域との連携」 (83→59)</p> <p>【10ポイント以上マイナス】</p> <p>「6. 学校からの連絡文書」 (92→75) 「9. 学校からの情報発信 (HP 等)」 (93→82) 「10. 徴収金の執行内容の公表」 (85→71) 「16. 授業」 (91→80) 「19. ICT の活用」 (87→72) 「24. 進路情報の提供」 (87→73) 「25. 進路指導 (アドバイス)」 (90→73) 「26. 安全指導」 (88→73) 「30. 施設・設備」 (90→79) 「33. 一人一人の努力を認める」 (86→70) 「37. 登下校のマナー」 (85→70)</p> <p>【5ポイント以上マイナス】</p> <p>「5. 学校の教育方針」 (89→82) 「7. 参観の機会」 (91→82) 「8. 保護者の悩みや相談」 (85→80) 「11. すぐメール」 (95→86) 「15. 教員の熱意」 (92→84) 「22. 生徒の相談対応」 (87→80) 「32. 進路実現のための指導」 (89→80) 「35. あ・じ・みの指導」 (90→84) 「36. 外国人生徒への学習支援」 (88→80)</p> <p>【それ以外のマイナス項目】</p> <p>6 / 37項目</p>	<p>【10ポイント以上マイナス】</p> <p>「9. 悩みや相談」 (83→73) 「12. 体罰の防止」 (91→73) 「13. 働き方改革」 (79→69) 「14. 学習の評価」 (90→80) 「18. マナー指導」 (91→80) 「22. 交通安全指導」 (90→79) 「23. 災害対策」 (87→74) 「26. 部活動」 (87→77) 「30. ボランティア活動」 (81→71) 「33. 地域との連携」 (83→72)</p> <p>【5ポイント以上マイナス】</p> <p>「11. 個人情報の管理」 (85→79) 「16. ICT の活用」 (81→74) 「17. 探求の時間」 (83→78) 「19. いじめの対応」 (85→78) 「20. 進路情報の提供」 (86→78) 「21. 進路指導 (アドバイス)」 (87→79) 「24. 講演や学校行事」 (88→80) 「25. ホームルーム活動」 (85→77) 「27. 生徒会活動」 (74→69) 「28. 清掃活動」 (84→75) 「29. 施設・設備」 (84→79) 「31. 進路実現のための指導」 (85→76) 「32. 一人一人の努力を認める」 (85→77) 「34. あ・じ・みの指導」 (88→83) 「35. 外国人生徒への学習支援」 (88→80) 「36. 登下校のマナー」 (87→81) 「31. 進路実現のための指導」 (85→76) 「32. 一人一人の努力を認める」 (85→77) 「34. あ・じ・みの指導」 (88→83) 「35. 外国人生徒への学習支援」 (88→80) 「36. 登下校のマナー」 (87→81)</p> <p>【それ以外のマイナス項目】</p> <p>6 / 36項目</p>
4. 「C+D」 = 15%以上 (否定的評価)	「6. 連絡文書」 (16)	「5. 家庭での学校の話」 (20)
5. 「E」 = 15%以上	「8. 保護者の悩みや相談」 (19) 「10. 徴収金の執行内容の公表」 (23)	「9. 悩みや相談」 (16) 「11. 個人情報の管理」 (16)

(周知不足)	「12. 個人情報等の管理」(30) 「16. 授業」(16) 「17. 体罰の防止」(41) 「18. 働き方改革」(45) 「19. ICTの活用」(16) 「22. 生徒の相談対応」(20) 「23. いじめの対応」(39) 「24. 進路情報の提供」(23) 「25. 進路指導(アドバイス)」(20) 「26. 安全指導」(25) 「28. 外部講師・体験授業」(16) 「29. 部活動」(39) 「31. ボランティア活動」(48) 「32. 進路実現のための指導」(20) 「33. 一人一人の努力を認める」(30) 「34. 地域との連携」(39) 「36. 外国人生徒への学習支援」(18) 「37. 登下校のマナー」(16) (昨年度無し)	「12. 体罰の防止」(16) 「13. 働き方改革」(25) 「15. 個に応じた指導」(15) 「16. ICTの活用」(16) 「23. 災害対策」(15) 「26. 部活動」(16) 「27. 生徒会活動」(20) 「30. ボランティア活動」(16) 「31. 進路実現のための指導」(15) (昨年度無し)
6. 本校への満足度	「3. お子様(生徒)はよろこんで学校に通っている」(86)	「2. 本校に入学できてよかったと思っている」(85)

【分析】(成果と課題)

①「観点1」

昨年度の保護者等の本校への評価は37項目の全てで「A+B」が80%を超えていたが、今年度は37項目中16項目となり、大きく評価が下がった。生徒においても同様で昨年度は36項目中33項目が「A+B」が80%を超えていたが、今年度は36項目中13項目ということで大きく評価が下がった。

②「観点2」

保護者等からの評価において、学校の教育目標や教職員の対応については高い評価を得ている。

③「観点3」

昨年度と比較し、保護者等の評価は37項目中34項目で評価を下げた。さらに30ポイントや20ポイント以上下げた項目がある。生徒の評価も36項目中34項目で評価を下げている。

④「観点4」

2割弱の保護者が学校からの連絡文書が届けられていないと感じている。また、生徒の2割が学校での様子を家庭で話していないという結果であった。学校と保護者の情報を共有するため、すぐメールで連絡文書を生徒に渡したことなどを伝えるなど有効な手段を考える必要がある。

⑤「観点5」

昨年度は「E」の「わからない」の回答が15%以上の項目は一つも無かったが、今年は保護者等で21項目、生徒は11項目あった。この回答が多かったことが「観点1」及び「観点3」の評価を下げた大きな一因と考えられる。

⑥「観点6」

保護者は、「3. お子様(生徒)はよろこんで学校に通っている」(86%)、生徒は「2. 本校に入学できてよかったと思っている」(85%)という肯定的な数値である。

⑦その他

「いじめ」「体罰」に関連する質問項目について、保護者等の回答は「E(わからない)」が多かった。東濃高校いじめ防止基本方針によるいじめ問題未然防止の取組や組織による対応などを保護者にも周知する必要がある。

※今年度はスマホからQRコードを読み込んでアンケートを実施した。保護者及び評議員44名、生徒281名の回答を得た。昨年度は保護者及び評議員152名、生徒181名の回答ということで有効回答数が大きく異なる。